



石垣島在住数十年の赤城さんも「初めて来ました。」と感慨深げでした。

その後、台湾系住民の信仰、集会の場でもある土地公廟「福德廟石垣島」、松田さんの計らいで台湾出身者が今も住む家で台湾風の暮らしぶりを見学して約3時間半の短いながらも充実した“内なるボーダーツーリズム”を終えました。

松田さんの言葉を借りれば「島はひとつの“色”で塗りつぶすことはできない。」(八重山毎日新聞・11月21日) この旅で石垣島に台湾とのグラデーションを見ることができました。それは他の国境・境界地域でも同様に見ることができる内なる国境境界地域特有の色なのでしょう。ボーダーツーリズムの旅が唯一無二の旅である理由もそこにあります。

以上 (伊豆芳人)